

体験授業

平成29年7月23日(日)

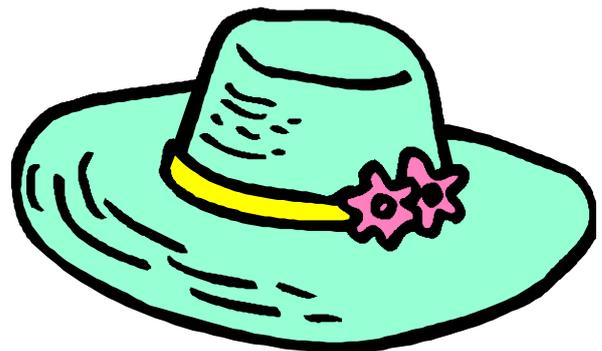


**大学の講義を体験できるチャンス！
ぜひ聴いてみてください。**

跡見学園女子大学

文学部

<p>人文学科</p> <p>11:25~12:10 2号館2階2282教室</p>	<p>100年前のヨーロッパを旅する 教授 石田 信一</p> <p>19世紀末から20世紀初頭にかけて、鉄道や蒸気船といった新たな輸送手段の発達もあって世界の一体化が急速に進みました。ヨーロッパに世界各地からさまざまな物資が運ばれ、人々の暮らしが豊かになっただけでなく、人々の移動や交流もさかんになります。帝都ウィーンを拠点として中央ヨーロッパからバルカン半島に至る広大な領土を支配していたハプスブルク帝国の事例を中心に、当時の写真・絵葉書などをまじえて、ヨーロッパの文化的特徴とともに、観光旅行の大衆化を含む人々の移動や交流の実態について紹介していきます。</p>
<p>現代文化表現学科</p> <p>13:55~14:40 2号館2階2282教室</p>	<p>現代日本の舞台芸術と身体表現 准教授 横山 太郎</p> <p>明治以降、舞台や芸能に携わる日本人にとって、西洋から次々とやって来る、近代劇、バレエ、モダンダンス、ミュージカル、ヒップホップといった新たな表現を、「日本人の体とことば」でどう受け止めるのか、ということは常に大きな課題でした。そして、この課題と向き合う中で、独自の新しいスタイルを持った演劇やダンスが生み出されてきました。この授業では、これら現代日本の様々な舞台芸術の身体表現の歴史的展開と現状について、できるだけ多くの映像を参照しながら、探っていきます。</p>
<p>コミュニケーション文化学科</p> <p>13:00~13:45 2号館2階2282教室</p>	<p>イメージや色彩から意味を読み解く 教授 吉澤 京子</p> <p>私たちが日常生活で何気なく見ているものや映像には、伝統や文化を背景としてさまざまな意味が隠されていることが多くあります。この授業では、最近話題になっているニュースや、駅などに貼られているポスター、あるいは少し昔の映像や写真などを見ながら、それらに託されている意味やメッセージを見出すヒントをお話します。そして、コミュニケーションの中で、そういった知識をどのように生かしていくとよいかについて、考えていきます。</p>



マネジメント学部

マネジメント学科 11:25~12:10 3号館1階3155教室	先延ばしのメカニズム ー行動経済学からの考え方から学ぶー 准教授 櫻川 幸恵
	あなたは「やろう」と心に決めたことを、先延ばしにしてしまって後悔したことがありますか？ 例えば、勉強、ダイエット、貯蓄……。経済学のなかに行動経済学とよばれる分野があります。 そこでは、なぜ人々がいったんはやろうと決めたことを先延ばしにしてしまうのか、というメカニズムを明らかにしています。そして、先延ばししないコツについても提案しています。あなたの明日からの行動が変わるかも。ぜひ一緒に学びましょう。

生活環境マネジメント学科 13:00~13:50 花蹊メモリアルホール	「もったいない」ファッションショーってなに？ 准教授 横井由利
	私たちが無意識に使う「もったいない」という言葉は、日本独特のエコロジカルな発想で、環境と平和の使者と呼ばれたケニアのワンガリ・マータイさんによって世界中に広められました。ファッションと環境の関係をこの「もったいない」をキーワードに紐解きます。その後、学生たちが「民族衣装」について考察し、タンスに眠っている服をリメイクしました。その衣装で繰り広げるリメイクファッションショーは、環境について楽しく学べる授業です。 http://www.mottainai.info/jp/about/

観光コミュニティ学部

観光デザイン学科 13:55~14:40 3号館1階3156教室	「お仕着せの旅」から「こだわりの旅」へ新たに始まる観光デザイン 「将来、観光産業で活躍したいあなたへのメッセージ」 准教授 篠原 靖
	政府は2020年の東京五輪に向けて観光立国のさらなる推進を目指しインバウンド観光客誘客目標を4000万人としています。今や日本の経済をけん引する「観光」日本の魅力を世界に発信し訪日旅行客の誘致に全力で取り組む意義と可能性について学びます。もし、高校生のあなたが観光関連の仕事(旅行・ホテル・航空・鉄道・テーマパーク・観光地域振興、等)に興味があるのなら是非この授業を受講してください。「お仕着せの旅」から「こだわりの旅」へ新たに始まる日本の観光デザインの姿を楽しく学べます。

コミュニティデザイン学科 11:25~12:10 3号館1階3156教室	地震に自信を～被害を軽く、恵みを大きく～ 教授 鍵屋 一
	日本列島は地震が多発する大地動乱の時代を迎えています。南関東は1923年の関東大震災から大きな地震は発生していませんが、いつ起こっても不思議ではありません。社会は、みなさんは、どのような備えをしなければならないのでしょうか。災害は、正しく恐れ、正しく備えることによって、被害を少なくできます。一方で、地震や火山災害は大地の恵みをもたらします。美しい景色、気持ち良い温泉は恵みの証です。授業の後半では、大学生が豊かな自然の中で地域の魅力発見のフィールドワークをする様子を紹介します。

心理学部

臨床心理学科 13:00~13:45 2号館2階2283教室	犯罪心理学と道徳性心理学 教授 阿部 洋子
	犯罪に至る心理、犯罪後の自己正当化の心理のほか、被害者学の発達などを通し、犯罪件数は減少しているにも関わらず、1990年代以降の社会では、なぜ体感治安の悪さが高まっているのかということや、道徳性の形成の困難さが生じているのかについて語る。また矯正施設において実施されている心理療法や、最新の脳科学の進歩を通して、犯罪を抑止し、再犯を防止するためには、どのような働きかけをすればよいかについても述べる。